

2) 廃棄物の再資源化方法

表-4 払出している廃棄物の再資源化方法

廃棄物	再資源化方法
炭化物	銅精錬原料等として利用
碍子	再生砕石等として利用
ビフェニル	他の廃油等と混合の後、セメントメーカーで燃料として利用
	他の廃油等と混合の後、助燃油として利用
塩酸	飛灰、スラッジ、汚染土壌の金属抽出剤として利用
	汚泥処理（中和）剤として利用
木酢油	高炉用ペレット製造又はセメント原料製造工程の原燃料
T C B	高炉用ペレット製造又はセメント原料製造工程の原燃料

(4) エリア間移動による効率的な処理の推進

平成 29 年 6 月末時点でのエリア間移動処理の計画及び実績は(表-5)のとおりです。

表-5 エリア間移動処理の計画及び実績

区分	分類		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
トランス類	新幹線車載トランス (豊田エリアから)	計画	10	8	6	6	0	0	30
		実績	10	8	2	-	-	-	20
コンデンサ類	特殊コンデンサ (北海道エリアから)	計画	0	0	200	100	100	100	500
		実績	0	0	37	-	-	-	37
	特殊コンデンサ (豊田エリアから)	計画	9	70	100	100	100	121	500
		実績	9	70	8	-	-	-	87
	PPコンデンサ (豊田事業所へ)	計画	296	2,368	3,000	336	0	0	6,000
		実績	296	2,368	655	-	-	-	3,319

(処理台数)

(5) 運転廃棄物

1) 処理実績

平成 29 年 6 月末時点での運転廃棄物の処理実績は(表-6)のとおりです。

表-6 運転廃棄物処理実績

年度	種別	無害化認定施設					自所処理						他事業所 (5000ppm超)		
		換排気用 活性炭	保護具・ シート類	タール・ 木酢	廃アルカリ	低沸油	廃アルカリ	廃粉末 活性炭	タール・ 木酢	配管材	コンクリー ト等	VTRパッチ数実績		東京	北九州
												運転 廃棄物	全パッチ		
平成24年度	本数	0	0	0	20	0	0	12	51	101	0	42	556	0	0
	重量(t)				4.0			1.8	10.2	15.2					
	PCB処理量(kg)				2			360	71	<1					
平成25年度	本数	0	0	0	169	0	0	34	34	128	0	45	564	0	0
	重量(t)				33.8			5.1	6.8	19.2					
	PCB処理量(kg)				33			1,020	48	<1					
平成26年度	本数	1,007	0	0	199	129	25	4	58	137	0	53	462	0	0
	重量(t)	100.7			39.8	25.8	5.0	0.6	11.6	20.6					
	PCB処理量(kg)	5			18	27	35	120	81	1					
平成27年度	本数	288	624	51	177	48	91	49	60	116	0	85	456	64	32
	重量(t)	28.8	35.6	10.2	35.4	9.6	18.2	7.4	12.0	17.4				10	2
	PCB処理量(kg)	3	6	7	25	10	127	1,470	84	<1				1,920	28
平成28年度	本数	192	720	0	192	48	84	76	136	61	0	92	445	0	276
	重量(t)	19.2	41.0	0.0	38.4	9.6	16.8	11.5	27.2	9.3				0	16
	PCB処理量(kg)	2	8	0	27	10	118	2,300	190	<1				0	256
平成29年度 4月	本数	0	120	0	30	0	20	0	0	1	0	6	39	0	16
	重量(t)		6.8		6.0		4.0			0.2					0.9
	PCB処理量(kg) ※		1		4		28			<1					14
5月	本数	60	60	0	30	0	0	0	12	7	0	7	34	0	16
	重量(t)	6.0	3.4		6.0				2.4	1.1					0.9
	PCB処理量(kg) ※	<1	1		4				17	<1					14
6月	本数	0	120	23	7	0	8	0	12	0	0	5	42	0	32
	重量(t)		6.8	4.6	1.4		1.6		2.4						1.8
	PCB処理量(kg) ※		1	3	1		11		17						28
平成29年度 実績累計	本数	60	300	23	67	0	28	0	24	8	0	18	115	0	64
	重量(t)	6.0	17.1	4.6	13.4	0.0	5.6	0.0	4.8	1.2	0.0			0.0	3.5
	PCB処理量(kg) ※	<1	3	3	9	0	39	0	34	<1	0			0	56

※平成 29 年度月度 PCB 処理量は値が小さいため切り上げ処理を行っている、平成 29 年度実績累計PCB処理量は四捨五入処理のため月度合計値とは一致しない。

(注)PCB 処理量はPCB濃度を以下のとおりとして推計
(無害化処理)

換排気用活性炭:51mg/kg(H26)、111mg/kg(H27)、保護具・シート類:182mg/kg、タール・木酢:713mg/kg、

廃アルカリ:409mg/kg(H24)、977kg/mg(H25)、457mg/kg(H26)、705mg/kg(H27)

低沸油:1,041mg/kg(H25)

(自所、他事業所処理)

廃アルカリ:7,000mg/kg、廃粉末活性炭:20w/w%、タール・木酢:7,000mg/kg、配管材:50mg/kg、ウエス・キムタオル:16,000mg/kg

2. 各種モニタリング調査結果等

(1) 排出源モニタリング

モニタリング計画等に基づき実施した排水、騒音・振動及び排気の調査結果を報告します。

1) 排水(汚水及び雨水)

平成 29 年 6 月に実施した外部分析機関による排水中の PCB 及びダイオキシン類濃度の測定結果は、(表-7)のとおり、全 11 地点とも自主管理目標値未満でしたが、雨水のダイオキシン類の測定結果で高い濃度の地点がありました。

表-7 排水(汚水・雨水)測定結果

棟名	検体	測定点	測定項目	単位	H29.6	参 考					維持管理値	自主管理目標値
						H28.6	H27.6	H26.6	H25.6	H23.6		
西棟	敷地境界汚水	①	PCB	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	0.003	0.0005
			ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.046	0.30	0.091	0.15	0.16	1.5	10	5
		②	PCB	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	0.003	0.0005
			ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.091	1.2*1	0.21	0.37	0.33	0.84	10	5
		③	PCB	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	0.003	0.0005
			ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.82	0.24	0.071	0.16	0.30	0.91	10	5
	④	PCB	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	0.003	0.0005	
		ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.087	1.6*2	0.042	0.31	0.095	0.56	10	5	
	敷地境界雨水	①	PCB	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	0.003	0.0005
			ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.93	0.27	0.17	1.0	0.39	0.63	10	5
		②	PCB	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	0.003	0.0005
			ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.51	0.88	1.4	0.94	0.66	0.24	10	5
③		PCB	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	0.003	0.0005	
		ダイオキシン類	pg-TEQ/L	1.70	0.56	2.8	1.2	0.74	0.80	10	5	
東棟	敷地境界汚水	①	PCB	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	0.003	0.0005
			ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.10	0.35	0.11	0.24	0.079	0.52	10	5
	敷地境界雨水	①	PCB	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	0.003	0.0005
			ダイオキシン類	pg-TEQ/L	1.5	0.74	0.80	2.5	1.0	1.2	10	5
		②	PCB	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	0.003	0.0005
			ダイオキシン類	pg-TEQ/L	2.2	0.47	0.90	0.28	2.7	0.31	10	5
		③	PCB	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	0.003	0.0005
			ダイオキシン類	pg-TEQ/L	3.3	0.063	0.35	0.49	0.49	0.13	10	5

*1 H28.12.8 再測定で西棟②1.2pg-TEQ/L は 0.64pg-TEQ/L となった。

*2 H28.12.8 再測定で西棟④1.6pg-TEQ/L は 0.075pg-TEQ/L となった。

注) 排水中の PCB の定量下限値は、0.0005mg/L

2) 騒音・振動

平成29年6月に実施した外部分析機関による騒音及び振動レベルは、敷地境界4地点(東、西、南、北)でいずれの時間帯も(表-8)のとおり維持管理値を満足していました。

表-8 騒音・振動測定結果

棟名	測定項目 (単位)		測定箇所・区分		H29.6	参考			維持管理値
						H28.6	H27.6	H26.6	
東西棟	騒音	騒音レベル (dB)	東	朝	47	50	51	50	60
				昼間	53	54	54	52	65
				夕	49	51	50	49	60
				夜間	46	48	45	48	55
			西	朝	59	58	58	58	60
				昼間	61	59	59	58	65
				夕	59	59	59	59	60
				夜間	54	54	54	55	55
			南	朝	51	57	55	55	60
				昼間	57	61	59	58	65
				夕	54	58	55	54	60
				夜間	48	51	53	52	55
			北	朝	57	56	57	55	60
				昼間	60	57	55	57	65
				夕	55	54	54	55	60
				夜間	54	52	52	53	55
振動	振動レベル (dB)	東	昼間	33	30	34	36	65	
			夜間	27	28	27	<30	60	
		西	昼間	28	29	29	33	65	
			夜間	<25	<25	<25	<30	60	
		南	昼間	34	31	36	38	65	
			夜間	26	28	30	<30	60	
		北	昼間	35	30	35	35	65	
			夜間	28	27	27	33	60	

3) 排気(排気口、ボイラー)

平成29年度1回目(平成29年6月)の排出源モニタリングは、(表-9-1、2)のとおりです。PCB、ダイオキシン類、塩化水素、ベンゼン濃度等の測定を行い、全測定箇所において自主管理目標値未満でした。平成28年度のPCB、ダイオキシン類の測定で、測定結果が過去数年間と比較して高い箇所(東棟⑤H2ガスベントA)については、排気口配管の汚れが懸念されたので、1月末に溶剤洗浄を実施しました。平成29年6月の測定結果では濃度の低下が見られたこともあり、他の濃度の高い系統についても平成29年夏の定期点検で配管交換、又は配管洗浄を実施しています。

また、ボイラー排気中の窒素酸化物、ばいじんについても自主管理目標値未満でした。

表-9-1 西棟 排気

棟名	測定箇所		測定項目	単位	結果		参考			維持管理値		自主管理目標値	
					H29.6	H29.1	H28.6	H27.12	H27.6				
西棟	①	排気口 西No.1-1 (P0403)	TCB分離装置	PCB	mg/m ³ N	0.000015	0.0000064	0.000015	0.00022	0.000013	0.1	0.01	
				ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.000042	0.000026	0.000040	0.0033	0.0010	-	0.1	
				塩化水素	ppm	<0.1	0.2	<0.1	0.1	<0.1	-	0.61	
				ベンゼン	mg/m ³ N	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	-	0.35	
	②	排気口 西No.1-2 (P0401)	洗浄装置 蒸留装置・カクペント	PCB	mg/m ³ N	0.000012	0.0000078	0.000039	0.000074	0.0000058	0.1	0.01	
				ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.000022	0.000011	0.000056	0.00046	0.0000044	-	0.1	
	③	排気口 西No.2 (P0402)	真空加熱分離装置	PCB	mg/m ³ N	0.0000098	0.0000020	0.000013	0.0000053	0.0000088	0.1	0.01	
				ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.0000091	0.0000027	0.000020	0.000019	0.000017	-	0.1	
				ベンゼン	mg/m ³ N	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	-	0.35	
				アセトアルデヒド	ppm	<0.01	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	-	0.1	
				トルエン	ppm	<0.1	-	<0.05	-	<0.1	-	0.1	
				臭気排出強度	-	3.0 × 10 ²	-	1.9 × 10 ²	-	3.1 × 10 ³	25 × 10 ⁶	-	
	④	排気口 西No.3 (P0201)	レール3換排気 解体室	PCB	mg/m ³ N	0.000026	0.0000077	0.000024	0.00018	0.0000080	0.1	0.01	
				ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.00010	0.000037	0.000092	0.0091	0.000022	-	0.1	
	⑤	排気口 西No.4 (P0202)	レール3換排気 漏洩品解体準備室	PCB	mg/m ³ N	0.0000085	0.0000012	0.0000037	0.0000039	0.0000029	0.1	0.01	
				ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.0000038	0.0000022	0.0000048	0.0000022	0.0000070	-	0.1	
	⑥	排気口 西No.6-1 (P0203)	レール2換排気 局所排気、除染処理室	PCB	mg/m ³ N	0.0016	0.0000090	0.000053	0.000027	0.000047	0.1	0.01	
				ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.00013	0.0000041	0.000014	0.000021	0.0000055	-	0.1	
	⑦	排気口 西No.6-2 (P0205)	レール2換排気 抜油室	PCB	mg/m ³ N	0.0000052	0.0000027	0.0000032	0.0000022	0.0000020	0.1	0.01	
ダイオキシン類				ng-TEQ/m ³ N	0.0000027	0.0000046	0.0000058	0.0000053	0.0000043	-	0.1		
⑧	排気口 西No.7 (P0204)	レール1換排気	PCB	mg/m ³ N	0.000011	0.0000032	0.000014	0.0000028	0.0000045	0.1	0.01		
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.000022	0.0000037	0.000019	0.0000063	0.000026	-	0.1		
-	ボイラー 排気口 西No.5		窒素酸化物	ppm	53	51	50	49	43	150	60		
			ばいじん	g/m ³ N	<0.002	<0.002	<0.003	<0.002	<0.002	0.05	Trace		

表-9-2 東棟 排気

棟名	測定箇所		測定項目	単位	結果		参 考			維持管理値	自主管理目標値	
					H29.6	H29.1	H28.6	H27.12	H27.7			
東棟	①	排気口 東No.1-1 (P0451)	高濃度ヘントガス	PCB	mg/m ³ N	0.00012	0.00010	0.00017	0.00015	0.000030	0.1	0.01
				ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.0042	0.00069	0.0029	0.011	0.0014	-	0.1
	②	排気口 東No.1-2 (P0452)	低濃度ヘントガス	PCB	mg/m ³ N	0.000080	0.000021	0.00011	0.00013	0.00033	0.1	0.01
				ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.00054	0.000019	0.0016	0.0021	0.00038	-	0.1
	③	排気口 東No.1-3 (P0453)	脱気槽ヘントガスA	PCB	mg/m ³ N	0.000063	0.000084	0.000051	0.000023	0.000027	0.1	0.01
				ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.0011	0.00083	0.00050	0.00042	0.00026	-	0.1
	④	排気口 東No.1-4 (P0454)	脱気槽ヘントガスB	PCB	mg/m ³ N	0.000047	0.000049	0.000053	0.000048	0.00024	0.1	0.01
				ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.00056	0.000065	0.00026	0.00068	0.00030	-	0.1
	⑤	排気口 東No.2-1 (P0457)	H ₂ ガスヘントA	PCB	mg/m ³ N	0.00042	0.0033	0.0077	0.000017	0.000013	0.1	0.01
				ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.00091	0.038	0.021	0.00028	0.0000074	-	0.1
				塩化水素	ppm	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	-	0.61
				ベンゼン	mg/m ³ N	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	-	0.35
	⑥	排気口 東No.2-2 (P0458)	H ₂ ガスヘントB	PCB	mg/m ³ N	0.000012	0.000026	0.000027	0.000024	0.000011	0.1	0.01
ダイオキシン類				ng-TEQ/m ³ N	0.0000069	0.000059	0.000052	0.00032	0.000015	-	0.1	
塩化水素				ppm	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	-	0.61	
ベンゼン				mg/m ³ N	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	-	0.35	
⑦	排気口 東No.2-3 (P0456)	塩酸ヘントガスA	PCB	mg/m ³ N	0.00020	0.0000079	0.000029	0.000026	0.0000079	0.1	0.01	
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.000037	0.0000049	0.000043	0.00045	0.0000062	-	0.1	
			塩化水素	ppm	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	-	0.61	
			ベンゼン	mg/m ³ N	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	-	0.35	
⑧	排気口 東No.2-4 (P0460)	塩酸ヘントガスB	PCB	mg/m ³ N	0.000030	0.0000079	0.000017	0.000021	0.000017	0.1	0.01	
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.000039	0.0000070	0.000023	0.0013	0.0000094	-	0.1	
			塩化水素	ppm	<0.1	0.1	<0.1	<0.1	0.1	-	0.61	
			ベンゼン	mg/m ³ N	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	-	0.35	
⑨	排気口 東No.4-1 (P0253)	レベル2換排気 局所排気	PCB	mg/m ³ N	0.00032	0.00025	0.00020	0.000081	0.00014	0.1	0.01	
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.00055	0.0016	0.0014	0.00065	0.00016	-	0.1	
⑩	排気口 東No.4-2 (P0251)	レベル2換排気 充填室、廃活性炭、ターボ機	PCB	mg/m ³ N	0.000014	0.00010	0.000032	0.000026	0.0000094	0.1	0.01	
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.000021	0.000041	0.000018	0.00057	0.000015	-	0.1	
⑪	排気口 東No.5 (P0252)	レベル1換排気	PCB	mg/m ³ N	0.000016	0.000010	0.000020	0.000089	0.000023	0.1	0.01	
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.000018	0.000014	0.000018	0.0024	0.00030	-	0.1	
⑫	排気口 東No.6-1 (P0455)	蒸留設備ヘントガスA	PCB	mg/m ³ N	0.0057	0.00076	0.00049	0.0000087	0.000033	0.1	0.01	
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.014	0.0017	0.000060	0.00055	0.00019	-	0.1	
			塩化水素	ppm	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	-	0.61	
			ベンゼン	mg/m ³ N	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	-	0.35	
⑬	排気口 東No.6-2 (P0459)	蒸留設備ヘントガスB	PCB	mg/m ³ N	0.000038	0.000011	0.000033	0.0000047	0.000011	0.1	0.01	
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.000059	0.000022	0.000063	0.000017	0.00026	-	0.1	
			塩化水素	ppm	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	-	0.61	
			ベンゼン	mg/m ³ N	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	-	0.35	
-	ボイラー 排気口 東No.3		窒素酸化物	ppm	51	55	33	55	41	150	60	
			ばいじん	g/m ³ N	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.05	Trace	

(2) 周辺環境モニタリング

平成 28 年度及び平成 29 年春期に事業所敷地内及び事業所周辺の 2 地点において、PCB、ダイオキシン類、ベンゼン及び臭気の現況調査を実施した結果は、(表-10~13)のとおり、いずれも環境基準値等を下回っていました。

1) 採取期間

① 大気環境調査

平成 28 年度：春期：平成 28 年 5 月 11 日～ 5 月 18 日
 夏期： " 7 月 4 日～ 7 月 11 日
 秋期： " 10 月 12 日～ 10 月 19 日
 冬期：平成 29 年 2 月 1 日～ 2 月 8 日
 平成 29 年度：春期：平成 29 年 5 月 10 日～ 5 月 17 日
 夏期： " 7 月 3 日～ 7 月 10 日 (分析中)
 秋期： " 10 月 11 日～ 10 月 18 日 (実施予定)
 冬期：平成 30 年 1 月 17 日～ 1 月 24 日 (")

② 臭気測定

平成 28 年度：平成 28 年 10 月 13 日
 平成 29 年度：平成 29 年 10 月 (実施予定)

2) 測定結果

表-10 平成 28 年度 周辺環境モニタリング結果

実施時期	項目	単位	事業所敷地内	事業所周辺*1	環境基準値等*2
春期 (H28. 5. 11~H28. 5. 18)	PCB	mg/m ³	0.00000054	0.00000037	0.0005
		ng/m ³	(0.54)	(0.37)	(500)
	ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.015	0.010	0.6
夏期 (H28. 7. 4~7. 11)	PCB	mg/m ³	0.00000041	0.00000040	0.0005
		ng/m ³	(0.41)	(0.40)	(500)
	ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.018	0.024	0.6
秋期 (H28. 10. 12~10. 19)	PCB	mg/m ³	0.00000044	0.00000034	0.0005
		ng/m ³	(0.44)	(0.34)	(500)
	ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.015	0.013	0.6
冬期 (H29. 2. 1~H29. 2. 8)	PCB	mg/m ³	0.00000016	0.00000012	0.0005
		ng/m ³	(0.16)	(0.12)	(500)
	ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.014	0.013	0.6
H29年度春期 (H29. 5. 10~H29. 5. 17)	PCB	mg/m ³	0.00000043	0.00000030	0.0005
		ng/m ³	(0.43)	(0.30)	(500)
	ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.010	0.010	0.6
	ベンゼン	mg/m ³	0.0011	0.0011	0.003

*1 事業所南側に位置する大阪ガス営業技術センター敷地内

*2 PCBについては環境庁大気保全局長通知(昭和47年環大企141号)に基づく暫定濃度、ダイオキシン類及びベンゼンは環境基準値

表-11 経年変化(PCB)

(単位:ng/m³)

年度 場所	H17*1	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29 春期
事業所敷地内	0.80	0.70	0.78	0.78	1.20	0.64	0.78	0.44	0.69	0.47	0.39	0.39	0.43
事業所周辺*2	0.55	0.56	0.62	0.48	0.73	0.54	0.55	0.28	0.42	0.36	0.36	0.31	0.3

*1:平成17年度は、施設建設段階

*2:事業所南側に位置する大阪ガス舞洲営業技術センター敷地内

注:環境庁大気保全局長通知(昭和47年環大気141号)に基づく暫定濃度:500ng/m³

表-12 経年変化(ダイオキシン類)

(単位:pg-TEQ/m³)

年度 場所	H17*1	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29 春期
事業所敷地内	0.068	0.068	0.130	0.075	0.053	0.042	0.030	0.032	0.045	0.033	0.028	0.016	0.010
事業所周辺*2	0.085	0.061	0.052	0.066	0.048	0.036	0.025	0.030	0.024	0.032	0.028	0.015	0.010

*1:平成17年度は、施設建設段階

*2:事業所南側に位置する大阪ガス舞洲営業技術センター敷地内

注:環境基準値:0.6pg-TEQ/m³

表-13 臭気測定結果

(平成28年10月測定:毎年1回)

項目	単位	西棟敷地内	東棟敷地内	維持管理値*
臭気指数	—	<10	<10	10
アセトアルデヒド	ppm	<0.002	<0.002	0.05
トルエン	ppm	<0.9	<0.9	10

*:大阪市環境事業局長通知(H18.8.31付)